

北に育つ

北海道稚内養護学校
学校便り
平成29年12月21日発行
第6号
発行者 首藤 啓美子



『相手の立場になって』『相手の気持ちがわかる』こと

北海道稚内養護学校長 首藤 啓美子

少し唐突な質問ですが、みなさんご自分の背中を実際に（鏡等ではなく）見たことがありますか？この質問の私の答えは「見たことがない、いえ見えない」です。一番身近にあるものなのに、実際に見ることはとても難しいはず。また、そんなこと考えたこともないし、見えなくてもわかると答える方もいるかもしれません。真実の一つのほうですが、質問に対する答えは一人一人違っていることが多いです。

学校の友人関係や社会生活の対人関係の中で、よく耳にする言葉に「相手の立場になって考えて」「相手の気持ちをわかる」など、関係性を友好に保つためには欠かすことのできない言葉があります。さて、「相手の立場」や「相手の気持ち」はわかるのでしょうか。内緒ですが、私は時々「相手の気持ちは本人にしかわからない」と答えたくある時があります。私自身のことはさておき、実際はなんとか相手の立場や気持ちを理解しようとしてますし、想像してみたり、過去の経験からたどって答えを探そうと努力するのではないのでしょうか。

社会生活を営む上で、相手の気持ちを押し量ることは欠かすことのできないことであり、それは、一人一人が考えていることは違うということを理解しているということに他なりません。

では、その「自分と他人は違う考えを持っている」ことを理解するのは、何歳くらいからだと思えますか？実は、5歳を過ぎないと「自分と他人は違う」ということは分からないのです。

発達障がいの一つ「自閉症スペクトラム症」など対人関係に課題のある方の社会性の弱さを把握するテストとして「サリーとアンの課題」があります（下の枠内）。

特別支援教育関係ではかなり有名な課題です。興味のある方は、右の枠の①～⑤に沿って絵に現すなどしながら、考えてみてください。

分かりましたね！ 答えはもちろん、「かごの中」です。サリーはビー玉がアンの箱に移されているのを知らないのですから、サリーの立場に立てば自分が入れたかごの中を探すといいわけです。当たり前ですが、自閉症の一部の方や5歳以下の子どもにはわからず「箱の中」と答えてしまいます。

「相手の立場」「相手の気持ち」を「どうしてわからないの」と叱ったり、怒るのではなく、どうしてわからないのかを考えることが大切です。どうしてがわかれば、どうやって伝えるとわかるかがわかります。お互いにわかる努力と、わかってもらおう努力をすることが一番大切です。また、「自分の背中は見えない」と本当のことを言う人がいること、相手の気持ちを押し量り、気を遣ってくれる人がいること、などなど「自分と他人は違う考えを持っている」と考える人たちがたくさんいる社会は、誰もが生きやすい社会だと思います。

平成29年も残り少なくなりました。稚内養護学校の周りは例年になく大雪で迎える二学期終業式です。今年もたくさんの皆様にご協力をいただき、支えられた一年でした。保護者の皆様、地域の皆様、そして応援して下さった多くの皆様に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

「サリーとアンの課題」

- ①サリーはかごを持っています。アンは箱を持っています。
- ②サリーはビー玉を持っています。サリーはビー玉を自分のかごに入れました。
- ③サリーは外に散歩に出かけました。
- ④アンは、サリーのビー玉をかごから取り出すと、自分の箱に入れました。
- ⑤サリーが帰ってきました。サリーは自分のビー玉で遊びたいと思いました。

サリーはどこを探すでしょう？



笑顔いっぱいの学芸会

10月29日(日)、学芸会が行われました。今年の学芸会のテーマは「君のスマイル」でした。児童生徒達は、普段の学習・練習の成果を十分に発揮して、素晴らしい発表をしてくれました。その結果、今年の学芸会のテーマ通り、ご来場いただいた保護者や地域の皆様の笑顔が会場いっぱいにあふれた学芸会となりました。また、児童生徒自身も、自分の役割を見事に果たしたときや、見に来ていた知り合いと触れあっているとき、他の学年の発表や声問小学校の発表のときなどに喜びや楽しさ、充実感などを感じ、たくさんの笑顔を見せてくれました。

児童生徒の頑張りとお声援、ありがとうございます。 (文責：安田)



手をつなぐ子らの作品展を終えて

12月3日(日) 稚内市勤労者青少年体育センターにて、「第55回手をつなぐ子らの作品展」が開催されました。今年も、宗谷管内の特別支援学級に在籍している児童生徒の皆さんと一緒に、作業学習で制作してきた作品を展示しました。あわせて、図工や美術で取り組んだ壁面装飾も一緒に展示され、華やかな会場となりました。今年は開会前から行列ができるほどの盛況ぶり、おかげ様でたくさんの方々にご覧いただくことができました。

中学部・高等部の生徒にとっては、自分たちの作品を直接手にとってもらえる機会として、意欲や関心が大変高い活動です。作業学習では、技術を身につけることだけでなく、こうした活動を通して自分の頑張りを認めること、次の活動意欲につなげられることを大切に考えています。今年が目玉としては、中学部はハガキサイズのカレンダーと、校内花壇で栽培したラベンダーのポプリを製作しました。また高等部は、利尻山など宗谷のモチーフをあしらった身長計と羊毛フェルトのキーホルダーを新たに製作しました。事前に練習を重ねたことにより、笑顔も交えながら自信たっぷりに紹介する姿が見られました。

小学部の児童にとっては、公共交通機関の利用や買い物を通して地域を知ることができる大切な機会です。友だちや先生とバスに乗ることや、地域の友だちとかかわること、買い物で自分のお気に入りを探すことなどを通して、「わくわく・どきどき」な体験をすることができました。

当日は保護者の皆様にもたくさんお越しいただき、ありがとうございました。お手にとっていただけた作品は、ぜひご家庭でも活用していただき、生徒への励ましを伝えてくださるようお願いいたします。 (文責：寺尾)



1月の行事予定

16日 開舎日	22日 二計測(高)
17日 3学期始業式	25日 ALT交流(高)
18日 二計測(小)	29日 入学者選考検査
19日 二計測(中)	高等部生徒休業日

2月の行事予定

7日 八重山交流(高)	15日 二計測(高)
8日 一日入学・一日入舎	避難訓練③
12日 振替休日	22日 新入生保護者説明会(高)
13日 二計測(小)	
14日 二計測(中)	